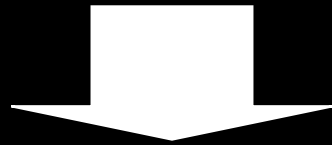


電子納品データベースの 再利用支援システムの試作

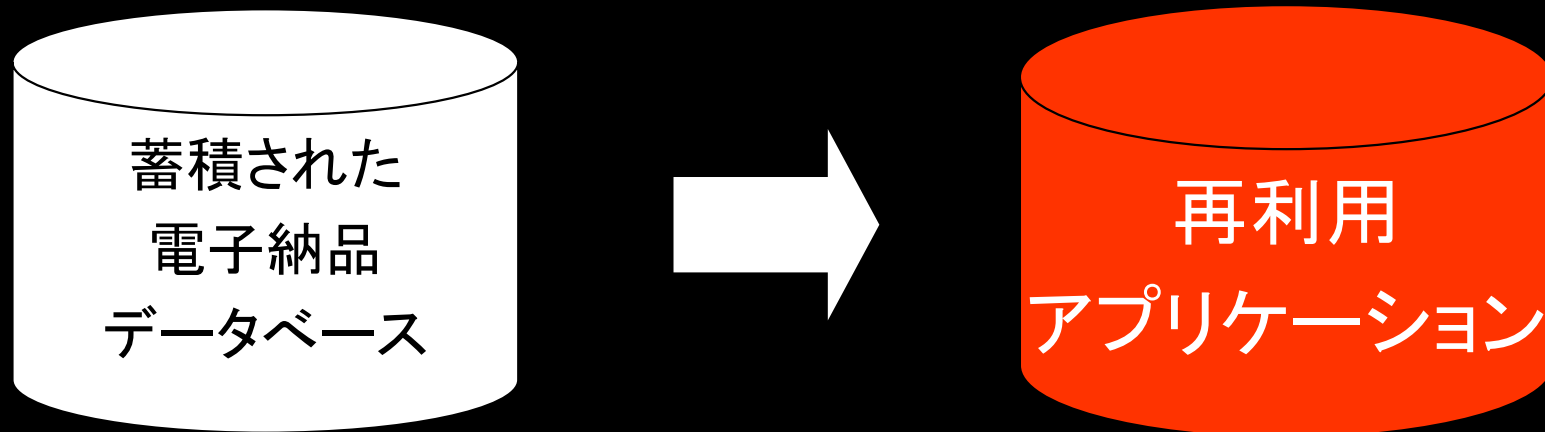
学生氏名 戸谷彰吾
指導教員 皆川 勝

はじめに

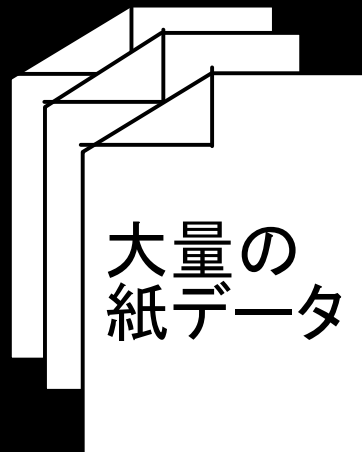
- 蓄積された電子納品データベースに対して二次, 三次的な利用が円滑に行われていない.
- 電子納品データベースを再利用するための標準が確立されていない.



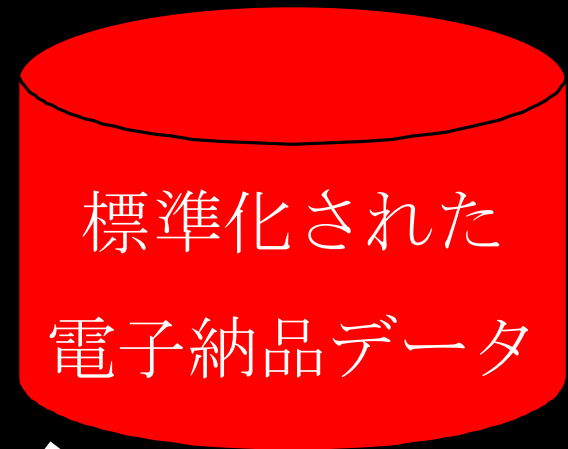
蓄積された電子納品データベースの再利用



電子納品の仕組み



国土交通省が定めた標準を用いて
電子化・構造化



CADデータ, 建設関連文章・
写真などの成果物

Web上で
一般公開



標準化された電子納品
データベースを視覚的
に閲覧させる。

電子納品の効果

情報の電子化

成果物の授受を容易にするとともに、保管場所の省スペース化を実現する。

通信ネットワークの利用

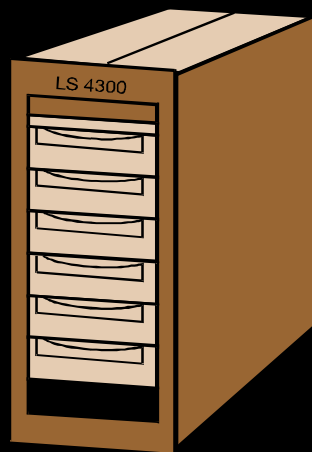
現場作業での安全性を向上させ、効率的な事業執行、事業公開を実現する。

情報の共有

事業全体の情報の伝達ミスや転記ミスなどを低減し、公共事業の成果品質の向上を実現する。

電子納品の課題

- 「電子納品データ」とは「成果物データを発注者が標準を用いて一般公開するデータ」である。



電子納品
データベース

課題



データは標準化されている
ので閲覧しやすい。



データをそのまま円滑に
再利用するのは難しい。

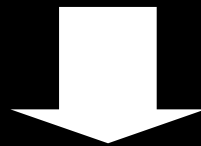


データ利用者

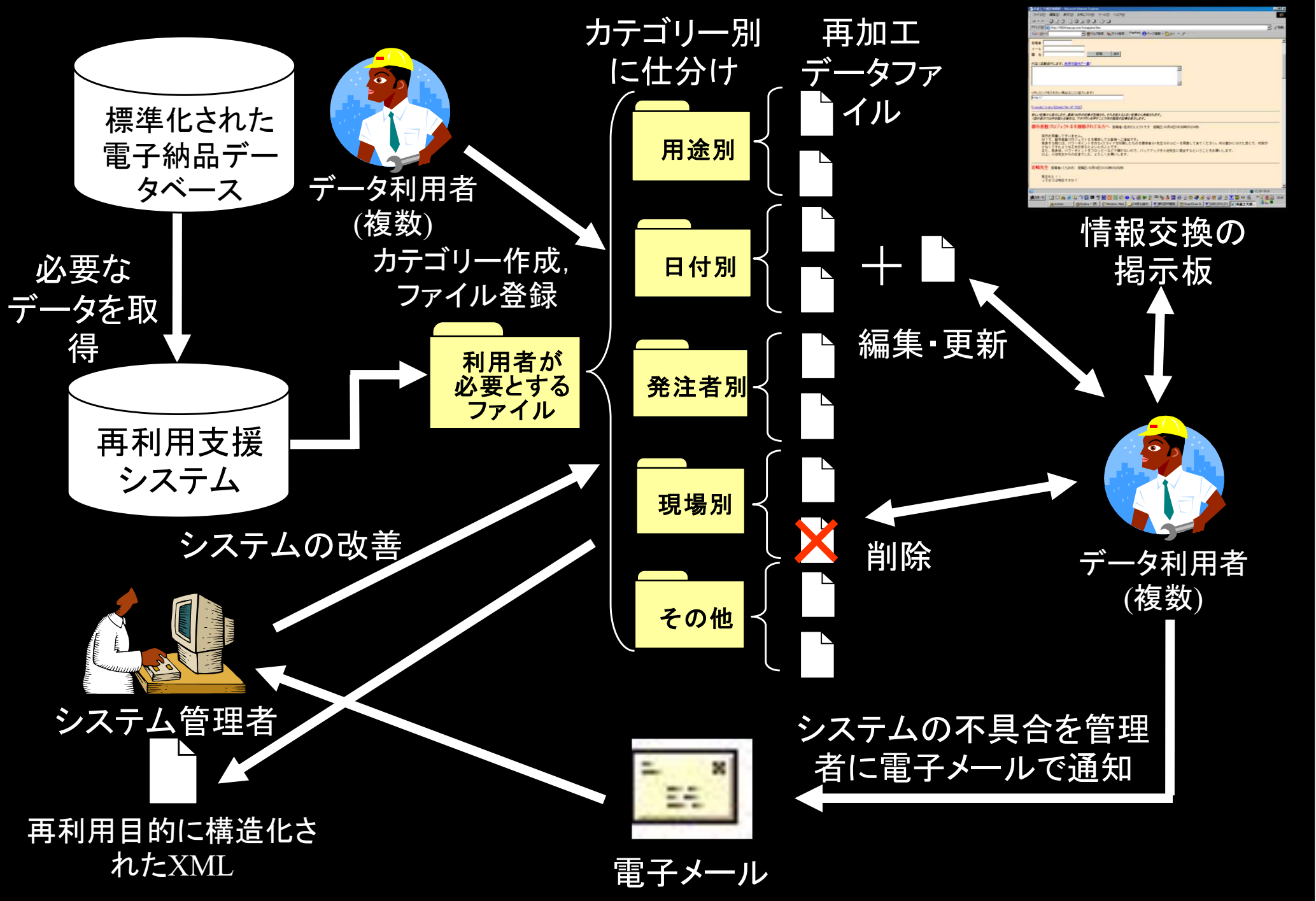
- 電子納品データの管理方法とこのデータを扱うデータ利用者のデータの使用における管理方法が異なる場合、標準化された電子納品データを直接利用することができない。

研究目的

- 電子納品データを再利用するための**電子納品データの再加工**を行えるシステム構築.
- 電子納品データを再加工する際の**再利用標準**の作成を支援するための提案.



電子納品データベースの**再利用支援システム**



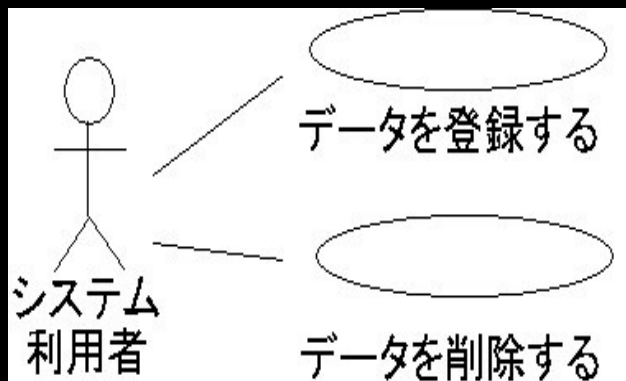
システム構築

システム設計



世界標準のシステム設計言語

UML



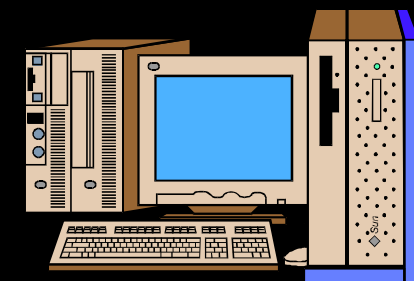
反復作業



Java言語

システム実装

```
public static void(){
    test(){
        String str = filemake;
    }
}
```



再利用支援システムのシステム構築

結論

電子納品の課題

蓄積された電子納品データベースの再利用、
再利用の標準を見出す、という電子納品の
課題

電子納品データベースの再利用支援システム

自由に電子納品データの再加工を行うことが出来き、
再加工された電子納品データの構造をXMLで出力
することにより、電子納品データベースの再利用の
標準を見出すことが期待できるシステムの構築